

みきさんと わたしは なかよしです。

みきさんは、うまれつき ぜんそくという びょうきが あって、くすりを のんで います。いつもは げんきだけれど、ときどきせきが ひどくなる ことが あります。

「ごほん、ごほん。」

きょうは、せきが つらそうです。



すると、たくまくんが

「うわあ、せきしてる。おまえ コロナだろ。」

と 言って、つくえを はなしました。だれかが、

「ちかくに いると うつるよ。」

と クラスみんなに きこえるように いました。

みきさんは、わたしの かおを じっと みつめました。わたしは、なにも いえませんでした。



みんなが、みきさんから はなれようと したとき、みきさんは、きっぱりと いました。

「わたし、ぜんそくなんだよ。ちゃんと びょういんにも いったい
るし、うつるものではないよ。」

そのかおは、おこっているようにも、かなしそうにも みえました。

すると、だいすけくんが ちかづいてきて、

「ぜんそくって つらいよね。うちの おとうとも、 ぜんそくなん
だ。でも、まいにち なんかいも けんかするほど げんきだけど
ね。」

と おおきなこえで わらいました。その
わらいごえは、みんなの わらいごえに
なって、きょうしつに おおきく ひびき
ました。たくまくんも、そっと つくえを
もどしました。



そのひの かえりみち。みきさんを みつけた わたしは、みきさ
んに こえを かけました。

「ねえ、みきさん！」

